

広報

昭和63年10月15日発行

麻生

No.407
'88 10



収穫の秋



麻生町民憲章

- 歴史を大切にし、文化を高め
明るい町をつくりましょう。
- 自然に親しみ、
水と緑の美しい町をつくりましょう。
- きまりを守り、
ふれあいのある町をつくりましょう。
- 健康で働き、豊かな町をつくりましょう。
- 地域活動に進んで参加し、
住みよい町をつくりましょう。

主な内容

- 第三回定例議会-----P 2
- 福祉の窓-----P 3
- 結婚相談員-----P 4
- 私の提言-----P 5
- 保健婦だより-----P 6

第三回定例議会

白帆荘の決算認定など 十議案を議決

するにあたり議会の同意を求めたものです。

百二十二万一千円を追加し、歳入歳出それぞれ三十三億八千二百七十八千円としたもので

すれぞれ八億四千九百四万九千円としたものです。

〔議案第三十三号〕

昭和六十二年度麻生町営国
民宿舎白帆荘運営事業会計決
算認定について

昭和六十二年度の白帆荘運
営事業会計決算の認定を求め
たものです。

〔議案第三十七号〕
決算の概要是、別表のとおり
です。

麻生町議会第三回定例会が、九月十九日から三十日まで十二日間の会期で開かれました。町では、本議会に白帆荘の昭和六十二年度決算など、十議案を提出。すべて原案どおり議決されました。なお、議会では、提出された請願の審査などを行わされました。町報では、町が提出した議案の説明のみを掲載いたしました。

〔議案第三十一号〕

固定資産評価委員会委
員の選任について

崎正良氏が、昭和六十三年七月十五日で任期満了となつたため、磯山賢一氏（大字小高三七一番地の九、六十一歳）を新たに委員として選任するにあたり議会の同意を求めた

〔議案第三十二号〕

固定資産評価審査委員会委
員の選任について

崎正良氏が、昭和六十三年七月十五日で任期満了となつたため、磯山賢一氏（大字小高三七一番地の九、六十一歳）を新たに委員として選任するにあたり議会の同意を求めた

〔議案第三十四号〕
勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

農業委員や監査委員など、非常勤特別職の職員の報酬を平均で約六%引き上げたもの

〔議案第三十八号〕
昭和六十三年度麻生町老人保健特別会計補正予算（第二号）

歳入歳出予算に六百三十四万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ十二億四千九百四十万五千円としたものです。

〔議案第四十号〕
昭和六十三年度麻生町外四ヶ町村公平委員会特別会計補正予算（第一号）

歳入歳出予算に四万八千円を追加し、歳入歳出それぞれ一億四千三百四十四万三千円を追加し、歳入歳出それぞれ一億四千三百四十四万五千円としたものです。

〔議案第三十九号〕
昭和六十三年度麻生町簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）

歳入歳出予算に七百四十八万三千円を追加し、歳入歳出それぞれ一億四千三百四十四万五千円としたものです。

〔議案第三十六号〕

〔議案第三十五号〕
麻生町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

〔議案第三十六号〕
昭和六十三年度麻生町一般会計補正予算（第二号）

〔議案第三十五号〕
教育委員小沼義晴氏が昭和六十一年十二月十九日付で、辞職されていたため、平輪一郎氏（大字麻生一九五番地五十九歳）を委員として任命されました。

〔議案第三十五号〕
教育委員小沼義晴氏が昭和六十一年十二月十九日付で、辞職されていたため、平輪一郎氏（大字麻生一九五番地五十九歳）を委員として任命されました。

白帆荘決算の概要

◎利用状況（）内は対前年度
・宿泊 11,143人
・休憩 18,467人
・合計 29,610人（2,619人の増）

◎収益的収支
・事業収益 225,182,846円
・事業費用 224,593,699円
・純利益 589,147円
(9,232,992円の増)

◎資本的収支
・資本的収入 0円
・資本的支出 3,719,848円
収入に対して不足する 3,719,848円は当年度損益勘定留保資金で補てん。

福祉の窓

(7)

児童扶養手当を ご存知ですか

母子家庭のおかあさん
対象になりませんか



児童扶養手当は、父母の離婚、死別などで父と生計を同じくしていらない十八才未満の児童を監護、または養育している方に支給される手当です。

手当を受けることができる人は

父と生計を同じくしていない児童を監護する母、または母に代つて養育している祖父母、おじおば、兄姉などに支給されます。

ただし、養育している人が年金を受給している場合は、
ト、父が一年以上遺棄してい
る児童。
ト、母が婚姻によらないで、
懐胎した児童。

手当の額は

対象児童の数に応じて、次のとおり支給されます。ただ

手当の支給の対象となる場合があります。また、所得の制限もあります。

手当の対象となる児童

イ、父母が婚姻を解消した児童。

ロ、父が死亡した児童。

ハ、父が法に定める廃疾の状態にある児童。

ニ、父の生死が明らかでない児童。

ホ、父が一年以上拘禁されている児童。

ヘ、父が一年以上拘禁されて明らかでない児童。

チ、(ト)に該当するかどうか

- 児童一人のとき 月額 三万四千円。
- 児童二人のとき 月額 三万九千円。
- 三人以上となるときは、これに、一人につき二千円が加算されています。

手当を受けるための手続きは

福祉年金課の窓口に用意し

四十周年を迎えた

検察審査会

と考える場合には、事件を起訴しないことができます。しかし、たくさんの事件の中には、起訴すべき事件を不起訴話します。

検察審査会は、選挙権を有する国民の中から選ばれた十人の検察審査員で構成され検察官のした不起訴処分が正しかったかどうかを審査することを主な仕事としています。

検察官は、ある事件を起訴するかどうかの判断を任せられているので、証拠が十分でない場合のほか、証拠があつてもいろいろな事情を考慮して容疑者を処罰する必要がない

ある認定請求書などの書類を県に提出し、知事の認定を受けています。認定の請求には、色々な書類が必要となります。また、この手当は受給資格があつても請求しないかぎり支給されませんし、支給の要件に該当してから五年を経過したときは、請求できなくなってしまいます。

この手当に該当すると思われる方は、ぜひ、福祉年金課にお問い合わせ下さい。

茨城県最低賃金を改正

1日 3,677円
1時間 460円

昭和63年10月5日より実施されています。
詳しくは、茨城労働基準局賃金課へ
電話 0292-24-6215

心配ごと相談

○とき 毎週木曜日
午後 1:00 ~ 3:00
○ところ 麻生町公民館
身近な悩み事や、心配ごと。相談してみてはいかがでしょうか。

結婚相談員は

あなたからの相談をお待ちしています

麻生町結婚相談員

氏名	住所	電話
箕輪英雄	粗毛20	72-0173
永作惣一	麻生501の3	72-2052
大川シイ	矢幡1463	73-3047
平山せつ	根小屋321	73-3156
宮内喜一	宇崎775	73-3505
金田金平	四鹿791	73-2469
茂木岩夫	船子336	77-0336
倉川直衛	於下1604	77-0323
宮内正	小高905の2	77-0503
市村五郎	島並546	72-0860

定例会では協議と情報の交換を

結婚シーズンがやってきました。結婚は、家庭にとって大きな喜びであり、健全な家庭建設の基礎となるものでしょう。ところが、近年では農家をはじめとして、各方面で嫁・むこ不足が大きくクローズアップされています。町では、なんとか嫁・むこ不足の解消につながればと、

公民館事業の一環として、結婚相談事業を行っています。結婚相談事業を行っている町長から委嘱を受けた十名の相談員が、求婚者からの相談を受け、毎月の定例会において、その月に受理された相談事項についての検討・協議及び情報の交換などを行っています。

結婚は、人の一生を左右する相談により知り得た事項に関する秘密は守られますし相談は無料です。

相談してみることも、結婚成立への、一つのきっかけづくりかと思います。一度お近くの相談員に相談してみてはいかがでしょうか。

ることですし、結婚適齢期の女性が少ないといった構造的な問題、また、農家でも農家へは嫁にやりたがらないといったようきびしい状況のなかで、相談員の皆さんは他町の関係者とも情報の交換を行っています。

漁業センサスが、十一月一日現在を調査日として行われます。この調査は“漁業に関する国勢調査”ともいるべき

ていますので、ありのままを記入ください。

お問い合わせは、企画観光課統計係まで。

漁業センサスにご協力を

統計係から

私も更生保護婦人会では七月の「社会を明るくする運動」期間中、不幸にして非行に走った青少年の更生を願って、愛の募金運動を県下一斉に行いました。

愛の募金は、県内の少年院や各矯正施設に収容されている青少年に、良書などの物資を贈るためにつかわれます。麻生町でも、たくさんの皆さ

愛の募金ご協力に感謝

んにご理解をいただき、総額十九万円余の募金をいただきました。

こうした運動を通して、一日も早く健全な青少年に立ち直ってくれることを願いながら、皆さんのご協力に厚くお礼申し上げます。

麻生地区更正保護婦人会
茂木米



33人が熱心に
受講しました

重労働をしている人は、たくさん塩をとらなければならぬのかしら。そう思つてはいる人も多いですが、実際体に必要な塩の量は一日一gといわれています。事実、全国食塩のとりすぎが高血圧や脳卒中に及ぼす影響が大きいことは皆さんもすでにご承知のことと思います。

水郷麻生観光協会が主催し、セミナーには、対象者百二十九人のうち、三十三名の方

が参加しました。内容としては、①受講者の持ちよつたみそ汁の塩分測定。②尿中の塩分測定。③血圧測定。④啓発のスライド。⑤栄養士による講話などです。

みそ汁塩分濃度の測定結果をみると、理想のみそ汁塩分濃度に比べて「ふつう」「うすい」が約八割を占めています。みそ汁に関しては、うす味を心がけている人が多い

高地区モデル検診受診者のうち、血圧治療中、および要注意者を対象に、毎日の食卓を振り返り、減塩について学ん

いへん多いが半数という結果でした。みそ汁は塩分控えめにしていても、他の食べ物で塩分をとりすぎている人が多い

血压要注意の人は、塩分を控えること等、毎日の生活を注意することで、高血圧にならないよう健康管理をします。また、血压治療中の人も、「薬を飲んでいればそれで大丈夫だろ」と過信することなく、毎日の食生活にも注意して下さい。

重労働をしている人は、たくさん塩をとらなければならぬのかしら。そう思つてはいる人も多いですが、実際体に必要な塩の量は一日一gといわれています。事実、全国食塩のとりすぎが高血圧や脳卒中に及ぼす影響が大きいことは皆さんもすでにご承知のことと思います。

茨城県では塩分接取量も多いようです。塩分は、味覚を考慮しても一人一日当たり、十g以下といわれます。

町では、六月に実施した小高地区モデル検診受診者のうち、血圧治療中、および要注意者を対象に、毎日の食卓を振り返り、減塩について学ん

平均より脳卒中死亡率が高い

以下といわれます。

『塩分』とりすぎないで くださいね

『減塩食普及セミナーを実施して』

保健婦だより

(27)

でいただきましたため、九月一日保健センターにおいて、減塩食普及セミナーを開催しました。

『水辺の里写真コンクール』に

百五十点の応募が

水郷麻生観光協会が主催し

○推薦

永作与惣兵衛(大字麻生)

井上文代(大字麻生)

貝塚俊洋(大字麻生)

○特選

出沼一(大字麻生)

箕輪一郎(大字麻生)

永尾睦雄(大字麻生)

○準特選

出沼一(大字麻生)

箕輪一郎(大字麻生)

永尾睦雄(大字麻生)

○入選

大里好友(大字青沼)

柳町守年(大字粗毛)

平野敏夫(大字麻生)

日には、茨城新聞及び県の知事公室の関係者により審査が行われ、二十九点が入選。な

の応募がありました。九月八日には、茨城新聞及び県の知事公室の関係者により審査が行われ、二十九点が入選。な

くも、永作与惣兵衛(大字麻生)さんは、八十四才とい

かでも、永作与惣兵衛(大字麻生)さんは、八十四才とい

う高齢ながら、最高位の賞で

ある推薦に輝きました。

麻生町からの入選者は、次の方々です。

年金証書の交付

過日、老齢福祉年金証書(みどり色の手帳)をお預りし

ましたが、証書の事務処理が

終りましたので、別表の日程

で証書を交付いたします。保

管証・年金証書に押してある

印かん・役場からの通知書を

持ち受けとりにきて下さい。

なお、指定された日にこれ

ない方は、十月三十一日まで

に役場福祉年金課窓口へおい

で下さい。

期日	時問	地区	場所
10月24日(月)	午前9:00~11:00	太田	太田分館
10月24日(月)	午後1:00~3:00	大和	大和分館
10月25日(火)	午前9:00~11:00	小高	小高分館
10月25日(火)	午後1:00~3:00	行方	行方分館
10月26日(水)	午前9:00~11:00	麻生	麻生町公民館(和室)

証書交付日程表

国保からのお知らせ

こんなときは

医療費の申請を

国保で診療が受けられなかつたときでも、次のような場合は、国保の窓口へ医療費の申請をすると、保険対象の範囲内で、一部負担金を差し引いた額が療養費として支給されます。

一、やむをえず保険証で治療を受けられなかつたとき。
旅行中・その他急発的な病気やけがのために、保険を取り扱っていない病院等で治療を受けたとき、または保険証を持参していなかつた場合。
二、生血を輸血したとき
手術などで輸血のため生血を求めたとき。
三、付添い看護をつけたときなど。

完全看護を行なつていない病院で、手術をしたあとや重病のため付添い看護を受け、その看護料や、移送のための費用で、医師が必要と認めたとき。
四、コルセットなどの治療用補装具を作つた費用。
治療上必要であると医師が

みとめたとき。

五、マッサージ・はり・灸の施術を受けたとき。

六、骨折や脱臼、ねんざをして、柔道整復師による施術を受けたとき。



共同募金 10月1日から～

まちの話題

みんなで“うどん”づくり —老人と子どものふれあい活動—

矢幡福寿会のお年寄りと、

矢幡第二子ども会の子どもたちが、九月二十五日、白浜少年自然の家に集合。世代を超えた交流会を行いました。

これは、町の老人福祉事業の一つである「老人と子どもとのふれあい活動」として行われたもので、当日は、あいにくの雨模様のなか、老人クラブから二十名、子ども会からは十八名が参加。

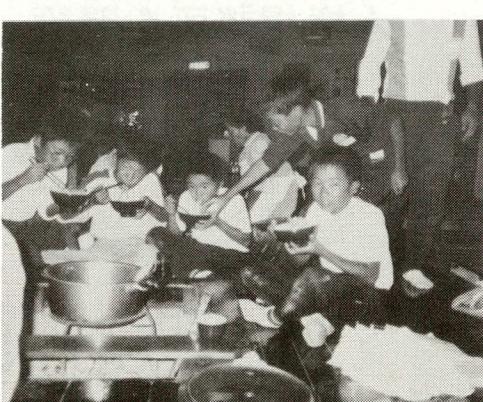
まずは、お年寄りが中心に

なり、昼食のうどんづくり。子どもたちには、うどん打ちは初めて。足の裏や手のひらでうどんをのばします。お世辞にも器用とは言えない手づきながらも、みんな一生懸命。努力のかいあつて、なんとか昼食。

たのしいひと時を

理者)もその責任を問われる場合は、法律により厳しく規制されており、事業として意業廃棄物の運搬や埋め立てを行う場合は、県知事の許可が必要となります。

最近、無許可業者等の巧妙な誘いに乗つた土地の所有者が、産業廃棄物による土地造成や埋め立てを安易に了承・契約した結果、大規模な不法投棄事案に発展した事例が報告されています。この場合、不法投棄された産業廃棄物等の処理について、不法投棄者はもとより土地の所有者(管



には初体験。一人で二つも、三つもつくり、いきおいあまって、雨降る庭先へ飛びだす子も。

近くに住んでいても声もかけ合うことがない、お年寄りと子どもたちが、一緒にうどんをつくり、そして遊んだひと時。

参加したみんなの満足げな顔が印象的な交

